

『高齢者の社会参加活動のあり方および参加促進に
向けた取り組みに関する調査研究』 報告書

平成24年 3 月

財団法人 岩手県長寿社会振興財団

目 次

第一部 調査の概要	1
1.調査研究の目的	
2.調査の企画および設計	
3.サンプリング	
4.調査方法	
5.調査結果	
第二部 調査の分析結果	
I.調査対象者のプロフィール性、年齢、学歴	2
II.暮らしぶり	4
(1)居住年数、(2)現在の収入、(3)暮らし向き	
III.仕事の状況	8
(1)現在の就労状況、(2)仕事をしている理由、目的、(3)仕事していない(無職)の理由	
IV.普段の生活	12
(1)自由時間の過ごし方、(2)普段の行動に対する取り組み方の気持	
V.健康状態 - 心身の状況	15
(1)現在の健康状態、(2)要介護状況、(3)持病の有無、(4)医療機関への通院状況	
VI. 生活環境	20
(1)住まいの状況、(2)車（バイク）の免許取得率	
VII.人間関係：ネットワーク	22
(1)近所付き合い、(2) 親戚付き合い、(3) きょうだい付き合い、(4) 友人付き合い	
VIII.社会貢献意識	27
IX.家事等のかかわり－家事担当	28
①食事の支度、②洗濯、③掃除、④家計や財産の管理、⑤孫の世話や保育、⑥親や 配偶者の介護、⑦ペットの世話、⑧庭・花壇・菜園の管理、⑨ゴミ捨て・ゴミ処理	
X.生活満足度	36
X I.コミュニティとのかかわり	37
(1) 町内会活動への関わり	
(2) 年齢集団との関わり	
X II.社会・団体活動編	40
(1) 団体活動への参加	
(2) 活動回数	
(3) 熱心に参加している団体	
(4) 参加開始時期（問32）活動歴は長くない	
(5) 参加する理由（問33）（複数回答）は多様、複合的である	
(6) 充実度（問34）充実感が高い	

(7) 活動に参加していない理由(複数回答)(問35)は 改善の余地が大きい

(8) 参加したい活動(活動に参加していない人)

(9) 社会活動などを活発に行うために必要な条件

(10) 参加してみたい活動(3つ選択:問38):活動意向は高い

XⅢ.震災時のこと 58

(1) 3月11日の地震発生時における近所への安否確認(問39):高い確認行動

(2) 3月11日の地震発生時における近所からの安否確認

(3) 自治会における震災対応の活動への参加

(4) 個人的な震災対応の活動

(5) 地震が起きたときに頼りになる人等

(6) ボランティア活動への参加

(7) ボランティア活動の内容

第三部 調査結果の要約

1. 単純な要約 68

(1) 回答者個人の特性

(2) 日常生活の状況

(3) 生活環境と暮らし向き

(4) 生活の満足度

(5) 社会関係(つきあい):ネットワーク

(6) 社会貢献意識

(7) 家事労働などの遂行、分担

(8) コミュニティとのかかわり

(9) 社会参加活動1 地域の年齢集団(老人クラブ、婦人会等)への参加

(10) 社会参加活動2 団体活動への参加

(11) どのような活動なら参加したいか

(12) 社会活動などを活発に行うために必要な条件

(13) 参加してみたい活動(3つ選択:問38):活動意向は高い

2. 社会参加活動に影響を与えるもの 74

(1) 地域集団:自治会活動、地域の年齢集団(老人クラブ、女性会など)

ア.自治会活動

イ.地域の年齢集団(老人クラブ、女性会など)

(2) 社会・団体活動編:様々な活動団体への参加と活動状況

第四部 調査結果から見た政策課題 79

1. 政策レベルの課題

2. 実践レベルの課題

《資料》 アンケート調査票(様式) 82